

スキルス・ラボ

Skills Lab

未来の医療者を育てるシミュレーション教育施設



■ スキルス・ラボとは？

医療者は、患者さんに接する前に、知識だけでなく基本的診療技術やコミュニケーション能力を身につける必要があります。

スキルス・ラボは、シミュレーターや模擬患者を活用し、実際の医療現場を再現した環境で学ぶことができる臨床技能学習施設(教育施設)です。安全な医療を支える学びの土台となる場所です。

徳島大学医療教育開発センターでは、スキルス・ラボで、シミュレーション教育を通じて、**基本的診療能力・コミュニケーション能力・チーム医療の学修支援を行っています。**

■ スキルス・ラボで学ぶこと



診療技術

- ・身体診察(聴診シミュレーター)
- ・採血・静脈路確保
- ・救急蘇生(BLS・ACLS)
- ・気道管理・超音波検査
- ・歯科診療技術など



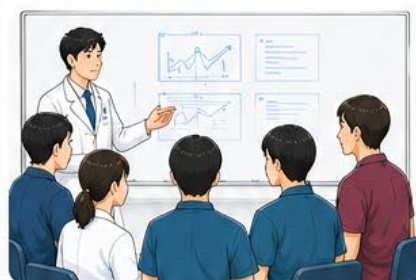
コミュニケーション

- ・医療面接(模擬患者さんとの対話)
- ・多職種との情報共有



チーム医療

- ・多職種で連携し、より良い医療を提供する力を育てます。



■ 多職種で学ぶ場所



医学部生



歯学部生



薬学部生



研修医



医師



看護師



医療専門職

医歯薬学部の学生から研修医、看護師など医療に関わるすべての人が学んでいます。

高大連携教育や学外向けの講習会も実施しています。

■ 徳島大学のスキルス・ラボは全国有数の規模

2023年に拡張整備を行い、広く快適な学修環境と最新のシミュレーターを備えています。


延べ床面積
1,627m²


シミュレーター総額
5億6,000万円


年間のべ学習者
17,000人超

■ 地域とともに、未来の医療を育てる

高校生向け体験学習、市民・医療従事者向け講習会を実施して、地域とのつながりを大切にし、未来の医療を担う医療人を育てています。

■ すべては、患者さんのために

医療技術だけでなく、患者さんを理解する力、多職種で共同する力を身につけ、安全で安心できる医療を提供できる人材を育成することを目指しています。

